

萌黄 (もえぎ) 通信

「もえぎ」、とは私の一人娘の名前です。誕生年と創業が同じなんです。



こんにちは！夏真っ盛りですね。子供のころ、お祭りの屋台で買ったヤドカリを、少し大きめの貝殻を入れ替えては、大人まで成長させた堀内貢次です。

8月と言えば、今年は梅雨明けが遅かったですが、それ以降は、毎日暑くてたまりませんね。今年も毎日のように、例年の暑さを更新しています。特に、「熱中症」には注意してください。こまめに休憩と水分と塩分を取るようにしましょう。

ある現場では、熱中症対策として、アイスクャンディ詰所であって、食べ放題なんて所もあったくらいです。

24万キロ乗りました。

私の仕事車ハイエースですが今年で6年目突入です。走行距離が24万キロに入ったところで、発進時になかなかギアが上がらなくなりました。



毎日のように現場の移動で、月に4000キロ近く走ると、どんな内容の現場にも対応できるように、道具も詰めっぱなしなので、かなり車には負担がかかっています。整備の人には、このままオーバーホールをしないといつかは止まるかもなんて言われましたので、8月には、新車購入です。シルバーのハイエースに買い替え予定です。

サビ抜き剤は、「緑青」にも効

きました。

先日、お寺の洗いにに行ってきました。築30年たっているのに、経年変化の汚れもすごいのですが、それ以上に、銅版の屋根から出る緑青の染みついた、緑色の汚れの方が、かなり目立ちました。

「緑青」もサビの一種なので、サビ抜き専用の薬品を使って、除去作業を行いました。

通常は、サビに反応すると、紫色になっていくのですが（左上図）、今回は、茶色に変化していきました。時間をかけないと、サビ色が抜けてこないの、湿布をしたりするのですが、今度は、茶色く変色した色相が抜けないので、それを除去するのに時間がかかります。



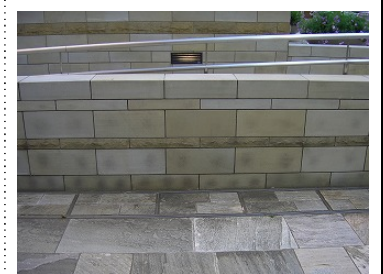
一度、このように色が変わると、緑青が抜けているかどうかの判断をするには、水で洗い流さないと判断が付かないので、薬品を何回も繰り返し塗布する



必要があります。今回の施工で緑青を抜く発見はありましたが、施工は、かなり根気がいりました。後は、再発防止のためにも、定期的に、洗浄はかけたいところです。

さて、何が原因ですか？

現調に行ってきた写真からです。築3年にこのような症状が出てきました。恐らく、裏面でモルタルかボンドで固定している部分から吸い上げが起き濡れ色が起き



てるのだとおもいます。良く洗浄をし、シミ抜きをすれば、多分ほとんどが消えると思いますが、テストをしたいですね。

【編集後記】

娘は、夏休みなんです、今年も、自由研究のレポートで大忙しです。そのため、パソコンの取り合いで、仕事をするにも順番待ちです。 _

萌黄通信 毎月1回発行

発行編集責任者 (有) ケイ・アンド・エス 堀内貢次

(東京出張所) 東京都港区浜松町1-1-10

(電話) 03-3431-0387 (Fax) 03-3431-7198

<http://www.e-kands.jp> (メール) kandsstg@jt4.so-net.ne.jp